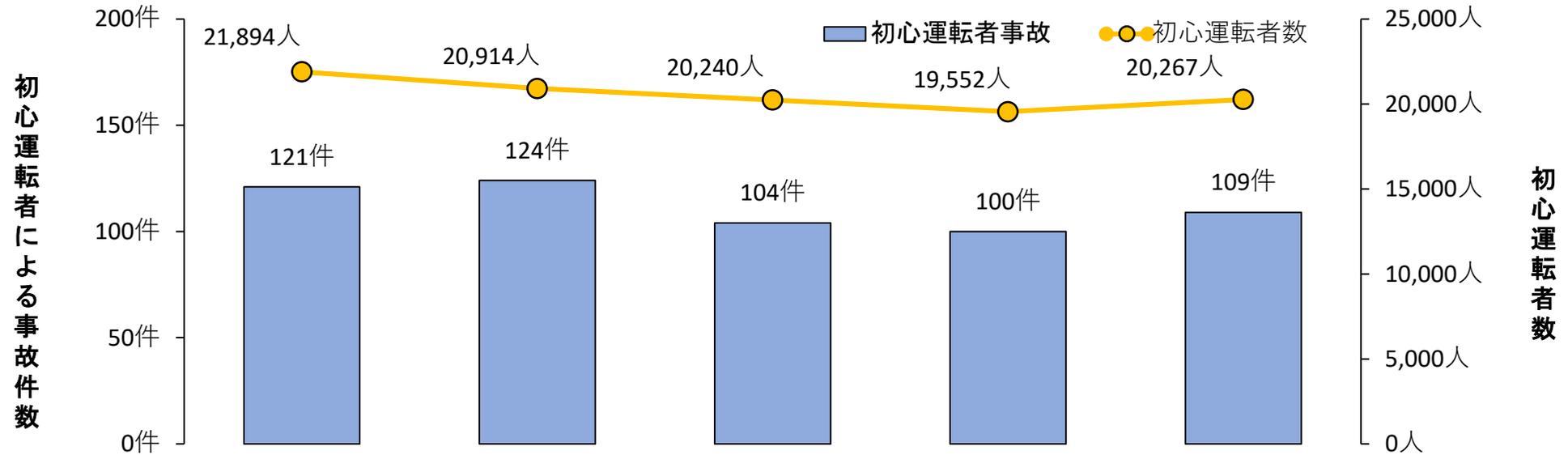


初心運転者（準中型・普通・軽自動車）の交通事故



過去5年間（令和3年～令和7年）の人身事故データから

《 最近5年間の交通事故発生状況 》



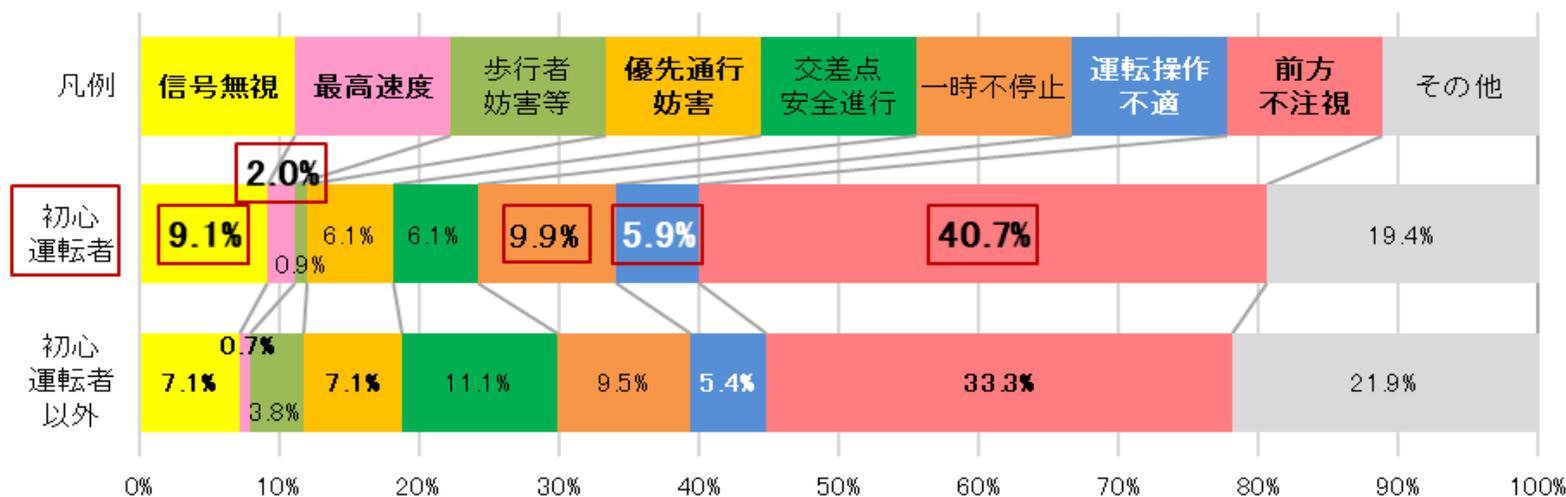
区 分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	過去5年平均
初 心 運 転 者 事 故	121	124	104	100	109	111.6
全運転者事故に占める率	4.3%	4.4%	3.5%	3.7%	4.0%	4.0%
免許保有者一人当たりの事故件数	55.3	59.3	51.4	51.1	53.8	54.2
初 心 運 転 者 数	21,894	20,914	20,240	19,552	20,267	20,573
全運転者に占める率	1.6%	1.5%	1.5%	1.4%	1.5%	1.5%
全 運 転 者 事 故	2,794	2,790	2,946	2,728	2,749	2,801
全 免 許 保 有 者 数	1,398,675	1,393,921	1,390,319	1,383,849	1,376,509	1,388,654.6
免許保有者一人当たりの事故件数	20.0	20.0	21.2	19.7	20.0	20.2

注1：運転者数は各年12月末現在。（県データによる）
 注2：初心運転者数については、準中型免許・普通免許合格者数を示す。
 注3：初心運転者・全運転者事故率とは、免許保有者あたりの事故件数をいう。

初心運転者は事故率が高い！

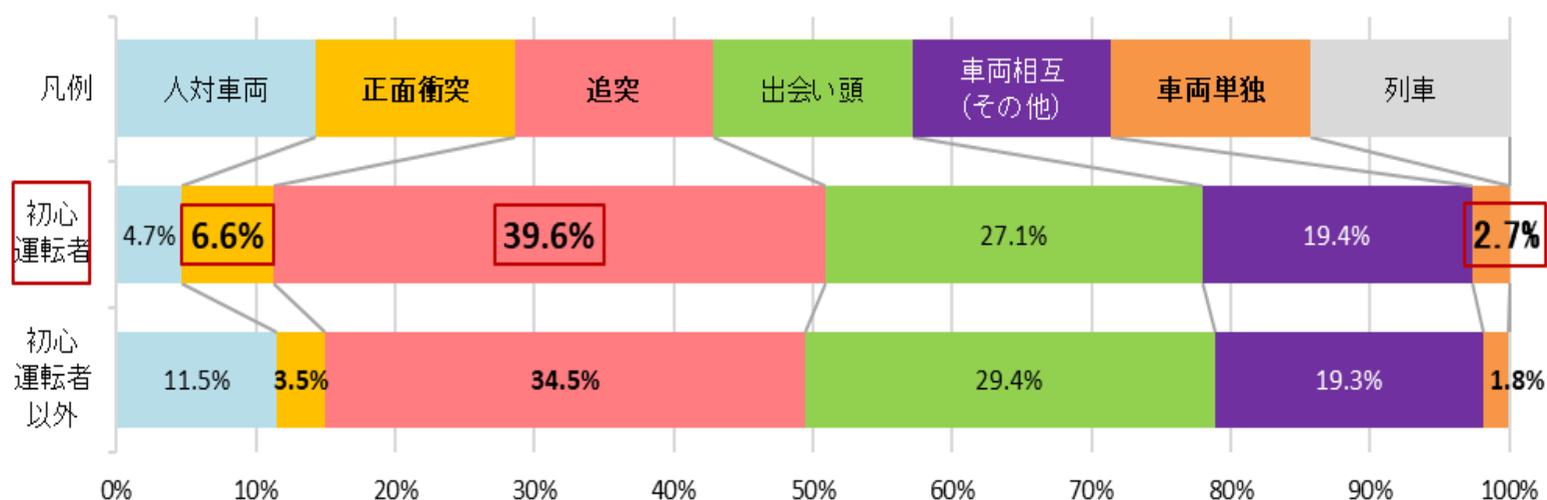
初心運転者による交通事故は令和5年以降ほぼ同数で推移しているものの、過去5年間の平均を見ると、全免許保有者に占める初心運転者の割合は1.5%であるのに対し、**初心運転者による交通事故は全運転者事故の4.0%と高く、さらに免許保有者1万人当たりの事故件数は54.2件で、全免許保有者（20.2件）の2.7倍**となっている。

《 事故原因別 》



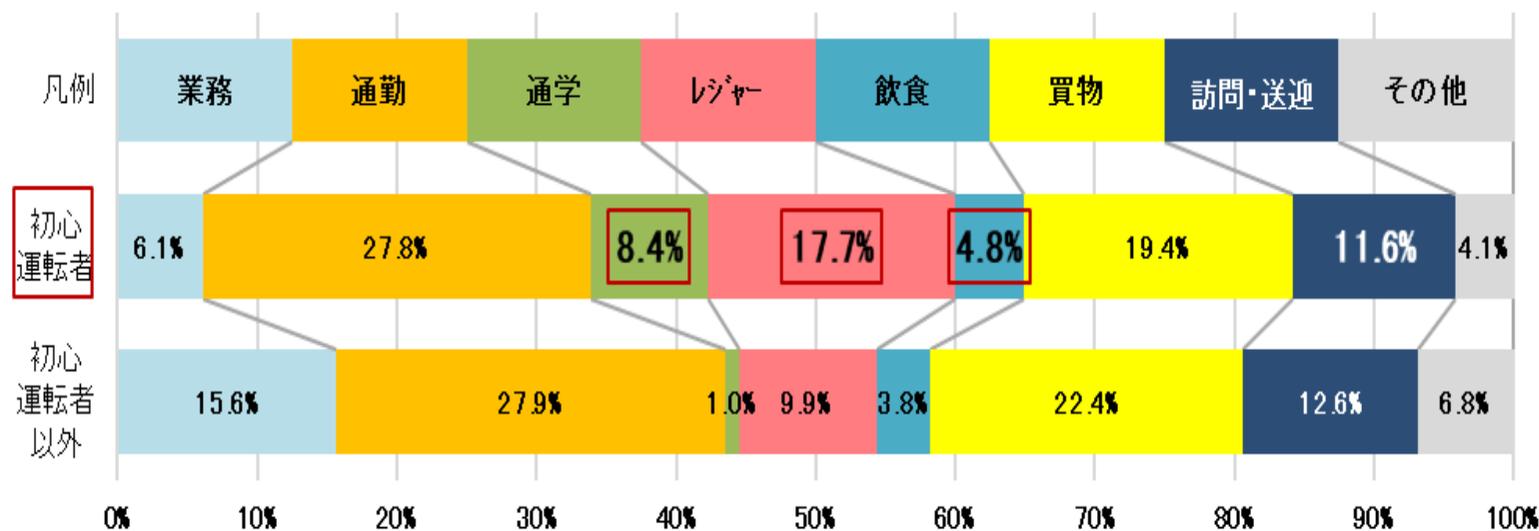
前方不注視による事故が多いほか、信号無視、最高速度、一時不停止、運転操作不適での事故率が高い。

《 事故類型別 》



速度の出し過ぎ、運転未熟等による正面衝突や単独事故のほか、前方不注視等による追突事故が多い。

《 通行目的別 》



通勤時の事故が全体の約3割と多い。

初心運転者は学生も多く、通学時の事故が多いほか、他の運転者に比べ、ドライブや娯楽等のレジャー、飲食時の事故が多い。